

IETF (Internet Engineering Task Force)

1. 組織の概要

IETF (Internet Engineering Task Force) は、インターネットプロトコルを定めるための標準化団体である。IETFには、メンバーとか参加資格に関する規定はなく、IETFの多数あるメールリングリストや誰でも参加できるミーティングへの参加者によって構成されている (年3回開催：1997年は4月にメンフィス、8月にミュンヘンで開催)。ミーティングには、毎回数千人を超える参加者があり、日本からの参加も増えつつある。

IETFは、Applications、Internet、IPng、Network Management、Operational Req.、Routing、Security、Transport、User Servicesの9つの分野で多数のWG (ワーキンググループ) から構成され、各WGには議長がいる。各エリアには、エリアディレクターが1人か2人おり、エリア内のWGの生成消滅などを管理する。

2. 活動内容

各WGの役割は、インターネットプロトコルを構成する個々のプロトコルを開発、評価、実装することである。WGは、プロトコル開発の必要に応じて生成される。開発初期のプロトコルは通常、RFC*よりも気楽に登録できる「Internet Draft」として公開される。Internet Draftは、6か月で消去されるが、たいていその前に次の版が公開される。プロトコル仕様が一応の完成をみると、その文書は「Proposed Standard」となり、「Standard Track RFC」として出版される。多くの場合、この時点でWGの役割は終了し、WGは消滅する。

RFCの中でも、「Standard Track RFC」は重要なものであるが、逆にすべてのRFCがStandard Track RFCというわけではなく、各WGや個人が、プロトコル記述ではなく、単にインターネットコミュニティに何らかの情報を提供するための目的で、「Informational RFC」を書くことができる。また、実験的なプロトコルは、「Experimental RFC」として出版される。

3. 意思決定のプロセス

IETFには誰でも参加できるため、票決という制度はなく、Working CodeとRough Consensusにもとづいた意思決定が行われる。動くインプリメンテーションが存在して、みんながだいたい満足すればいいことになっている。実際にはこの判断はWGの議長が行うため、議長の権限は大きい。年3回のミーティングのうち2回は米国、1回は米国外で行われることになっており、議論は英語で行われる。一応の国際性はあるが、かなり米国中心の組織である。

(太田昌孝・東京工業大学)



図1 IETFのホームページ
<http://www.ietf.org/>

RFC

Request for Commentの略。インターネットに関するプロトコルや提案標準、技術情報を記載した文書のこと。p. 124 参照

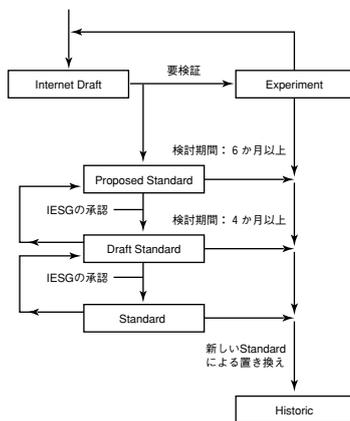


図2 インターネット標準の成熟段階



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp